

平成28年度第1回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

日時	平成28年11月1日(火)午後1時30分～午後3時10分
場所	さぬき市役所4階 第2委員会室
出席者	[委員] 計7名 奈良委員(会長)、頼富委員(副会長)、池上委員、木村委員、高嶋委員、中澤委員、西端委員 [事務局] 計3名 総務部政策課: 白井課長、原田係長、佐々木主任主事 [傍聴者] 1名
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1)行政改革実施計画進捗状況について (2)その他 4 その他 5 閉会
配布資料	・次第 ・行政改革推進委員会資料の送付について ・資料1 行政改革実施計画(平成27年度～平成30年度) ・資料2 行政改革実施計画(平成27年度)取組項目進捗状況一覧

<内容>

◆行政改革実施計画(平成27年度)取組項目進捗状況について

資料1及び資料2に基づき、行政改革実施計画(平成27年度)の進捗状況を説明。

◆質疑・応答及び意見交換(○:質問 ⇒:回答 ◎:意見・提案)

◎資料2中の「企業誘致の推進」については、ロボット化・人工知能の導入による時代の変化を分析の中に入れておく必要があると思う。

○資料2中の「その他補助金の見直し」について、効果額の見方を教えていただきたい。

⇒目標数値、実績数値ともに補助金の支出額を表しており、目標数値 118,174 千円に対して実績数値が116,448 千円ということで実績数値が目標数値を下回っているため、目標値以上の効果額が得られたということになる。

◎資料2中の「人事評価制度の導入」について、職場内の人間関係が冷たくなり、協力し合えなくなる恐れがあるので、特に慎重に人事評価をしていかなければならないと思う。

◎資料2中の「子育て支援コンシェルジュ制度の導入」について、生まれた子どもに対する支援は充実していると思うが、少子高齢化に対応していくためには、これから生まれてくる子どもを増やすような取り組みをしていか

なければならないと思う。各自治体それぞれが移住支援に取り組んでいる現状を鑑みると、さぬき市としてはさぬき市の中で生まれてくる子どもを増やすような取り組みをしていかなければならないのではないかと。

○資料2中の「税外収入の滞納分の徴収の強化」の内、CATV 使用料徴収率(滞納繰越分)について金額にするとどれくらいあるのか。

⇒約 1,400 万円程度である。

◎資料2中の「人事評価制度の導入」について、実績を上げるために同僚の職員に対し情報を共有しなくなり、職場内が秘密主義になったと聞いたことがある。

◎資料1中の財政指数等(普通会計)について、3つの指数や率を上げているが、さぬき市の広報紙には違う指標が上げられているので、統一することも検討した方が良いと思う。

◎資料1中に取り組項目ごとに取り組内容を書いているが、平成 28 年度から平成 30 年度まで同じ文言の取組内容となっているが、積極的な取組となるよう修正してはどうか。

◎資料1中の「未利用財産の活用」について、目標数値はなく、取組内容の文言も平成 30 年度まで同じになっているので、担当者が平成 27 年度を振り返ってどう反省しているのかが見えてこない。PDCAの着実な実行が必要であると思う。

◎資料1中の「職員提案の募集」について、自分の部署が他の部署にしてあげられることと他の部署にもらいたいことをそれぞれの部署がピックアップしてお互いに共有すればよいと思う。

◎資料1中の「人事評価制度の導入」について、平成 28 年度から平成 30 年度にかけて 3 年間本格導入となっているが、この間、検証と改善を行わないのはおかしいと思う。

◎できるだけ目標を数値化してほしい。

◎資料1中の第4次実施計画における目標を8つあげているが、昨今の情勢を反映して新たに3つの目標を提案する。一つ目は、地産地消ではなく地消地産に努めること。まず、地元産の農作物を学校給食に使ってみて、その声を生産に生かしていくようにすべきではないか。二つ目は、増え続ける医療費の圧縮に努めること。医療技術の向上に関する講演も必要だが、病気を防ぐことに関する講演も必要ではないか。三つ目は、政務活動費支給の見直しを行うこと。領収書の公開や後払い制度の導入を検討することが必要ではないか。

◎資料1中の「管理経費の抑制」について、公共施設の内、電気の消し忘れていた施設が見られるので気を付けていただきたい。

◎資料1中の人口の推移の中に、世帯数を入れてみてはどうか。人口は減少しているのに世帯数は増加しており、それにもかかわらず国は在宅介護を推奨しているという矛盾も見えてくる。

◎資料1中の「イベント補助金の見直し」について、目標数値に対する経済効果はどうなっているのか。経済効果が大きいのであれば補助金の削減をしていくのはいかがなものかと思う。

◎資料1中の「社会福祉協議会補助金の見直し」について、補助金を4%ずつ削減しているが、高齢化社会の現状に逆行しているように感じる。

◎資料1中の「観光収入の確保」について、情報発信やPRに努めているようだが、さぬき市を訪れること目的として来る観光客は少ないという前提で考えていかなければならない。官民が協力して、さぬき市独自のグルメ開発・向上に努めること、遍路道の活性化、外国語による表記の改善をはじめとする外国人観光客への対応強化、これらに努めていくことが必要ではないか。また、漁業以外に着目した海の活用や冬の観光強化も検討すべきではないか。

◎資料1中の「職員提案の募集」について、職員だけではなく市民からも意見を募集してはどうか。職員が気づかない提案が出てくるかもしれない。

◎資料1中の「観光収入の確保」について、源内マラソンを実施してみてもどうか。マラソンの人気は増えているし、宿泊者数等が増えて良いように思う。

◎資料1中の「観光収入の確保」について、イベントを行うならば、地元還元されるようにしていれば良いと思う。

◎今回の行政改革実施計画にあげられていない行政の取組項目についてもきちんと取り組んでいかなければならないと思う。

◎長期的なPDCAと短期的なPDCAの両方の実施が必要である。

◎資料1中の財政指数等(普通会計)について、参考として類似団体の指数等も加えたら良いと思う。